

## 研究発表 3

### 【タイトル】

「器楽演習」授業における即興演奏活動導入の試み

Idea of introducing improvisation into Instrumental Music Practice

### 【発表者】

堀上 みどり / HORIKAMI Midori

環太平洋大学 保育における音楽表現教育、即興演奏

### 【要旨】

筆者が担当する保育者養成課程器楽演習の授業を履修する学生は、そのほとんどがピアノ初心者・初学者である。幼稚園教諭・保育士の資格を取るために入学してくるが、保育実習に行くまでに器楽演習Ⅰ・Ⅱ（バイエル終了程度）を履修済みであることが内規で決められている。授業は3人の教員で担当しているが、他の二人の先生は音楽大学出身のピアニストである。彼らは、ピアノ初心者・初学者はバイエル（教本）で学ぶものと考えている。また、大学の授業は、楽しい授業ではなく、厳格な授業であるべきだと考えている。勤務して以来、筆者は「音楽教室の授業では駄目です！」とクレームを言われ続けている。一方で、学生が「音楽って楽しむものですよ。」「ピアニストになるわけじゃあるまいし…」と不満を口にするのを度々聞いてきた。そこで、筆者は、授業を少しでも創造的で楽しいものにするために、即興演奏活動を導入することを考え、2017年度前期の再履修クラスの授業で、4回実践した。1～3回目はJ-pop、4回目は自由即興を行った。

まず、幼稚園教育要領にある幼稚園における音楽表現教育について述べたのち、データを再生し、それらを評価する方法についてアドバイスいただくことが、今回の発表の目的である。

学生には研究の概要を説明し、そのために録音し、個人が特定されないように発表することで了解を得た。また、大学の倫理委員会には、研究を企画したときに審査が必要かどうかを確認し、個人が特定されなければ問題ないと了解を得た。データは、1～3回目の実践は採譜したものを再現し、4回目の実践は録音を編集して提示したいと考えている。再生するデータは半分足らずだが、短い即興演奏の中に学生の音楽性や性格が表れているものがある。今後は、ピアノ初心者・初学者である彼らの音楽性について明らかにしたい。